令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	216		
事務事業名	中心市街地活性化事業推進事務	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	商業・市街地活性課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画			第3期飯田市中心市街地活性化基本計画
	法令・例規等			中心市街地の活性化に関する法律

事業目的		
	対象	中心市街地
	意図	活性化のための事業が展開され、中心市街地の魅力が向上し、来訪者が増加する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	中心市街地の中心拠点としての魅力向上をめざし、リニア中央新幹線長野県駅との関係を踏まえた中心市街地のまちづくりを進めることで、賑わいの創出、来訪者の増加やまちなか居住の推進が図られることが求められています。これまで中心市街地が培ってきた都市基盤や潜在力を活かし、「小さな世界都市」を象徴する中心拠点として発展させていく必要があります。 ★電気小型バス実証運行による化石燃料消費の抑制を進めます。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
第３期飯田市中心市街地活性化基本計画の実行初年度となります。計画に基づく推進事業の実行に向けて取り組みます。 賑わいイベントの開催及び、日常の賑わいづくりに寄与するまちなか回遊促進事業を実施します。 空き家・空き店舗活用に向けた、実行組織の仕組みづくりに取り組みます。 中心市街地の素材を活用した商業空間や公共空間における賑わいづくりの可能性について、吉川建設㈱、明治大学アーバンデザイン研究室等と共同研究に取り組みます。 次世代デジタル技術を活用した交流人口の拡大づくりとして、民間企業と共同した社会実験の研究を進めます。 電気小型バスの運行を効果的に進めます。	中心市街地活性化協会負担金	1,400
	まちなか回遊促進事業	204
	まちのデザイン研究事業	600
	次世代デジタル技術を活用したまちづくり事業	1,500
	電気小型バス運行業務	3,054
	空き家・空き店舗活用の実行組織・仕組みづくり	1,100
	旧ピアゴ他低・未利用地活用事業	3,000
	その他の経費	1,855

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
第3期中活計画に基づく事業の着手数	件	-	-	-	-	-		28	
電気小型バス運行便数	便	1,000	744	1,000	936	1,000		1,000	
まちなか賑わいづくり事業実施回数	回	4	2	4	2	4		4	
大学等との共同研究事業数	件	-	-	2	2	2		2	
デジタル技術の活用による関係人口数	人	-	-	-	-	-		400	
空き家・空き店舗活用に向けた勉強会	回	-	-	-	-	-		3	
旧ピアゴ他低・未利用地の活用数	件	-	-	-	-	-		1	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	12,713	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	12,713	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	6	13	14	9,659 0	中心市街地活性化事業推進事務費
2	1	7	1	6	13	22	3,054 0	電気小型バス実証運行事業費
3								
4								
5								
6								
7								